



高屋中学校だより

＜校訓＞ 正しく 仲よく たくましく

☆ 教育目標 「教養豊かで、たくましく生きる生徒の育成」

<http://www.edu.city.ibara.okayama.jp/site/takatyu/>

高屋中学校 6月号
(第3号)

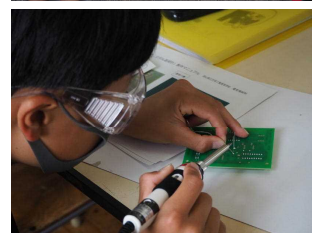
令和4年 6月10日

進路選択の参考に 高校出前授業



5月23日(月)に、笠岡工業高等学校の先生に来ていただき、3年生を対象に出前授業を行いました。電子機械科の授業では、溶接体験をしました。溶接専用の面を片手に、溶接棒から強い光を放ちながら溶接し、グラウンドを整備するトンボを作りました。電気情報科の授業では、基盤に部品をはんだ付けして、デジタル温度計を作りました。付ける部品が小さいので、はんだごてとはんだを当てるところを真剣に見つめて、細かい作業をしました。環境土木科の授業では、測量とドローン操縦体験をしました。測量機器を使って距離や角度を測りましたが、すぐに慣れてうまく操縦していました。

日頃できない工業高校の授業を体験をさせていただき、今後の進路選択の参考になったと思います。



平和について学習した広島研修

5月31日(火)に、広島市から被爆体験伝承者の松野厚子さんをお招きして、「笠岡貞江さんの被爆体験」を中心に2年生に話をさせていただきました。被爆直後の広島の様子や、貞江さんのご両親が亡くなられた時の状況等を語ってくださいました。笠岡さんの「戦争は絶対にいけない。愛の心を持った人になってほしい。」「平和は与えてもらうものではなく、自分で作っていくもの。座っていてはダメ。」ということばを伝えてくださいました。平和のために何か行動できたら良いと感じました。

そして、6月7日(火)には、実際に広島を訪れました。平和祈念資料館で、被爆資料や遺品、証言等を見学しました。その後、「原爆の子の像」の前で平和集会を行い、「… 平和な世界にするために私たちができることがあります『人を思いやり、優しさの心を持つこと』『いじめや差別など、人が苦しむようなことはしないこと』…」と誓いました。そして、班ごとに別れて、事前に計画を立てていた場所を訪れる自主研修を行いました。平和公園内のモニュメントや原爆ドーム、本川小学校・袋町小学校等を見学しました。

授業だけでなく、被爆体験者の話を聞いたり実際に現地に行ったりして学んだことを通して、改めて原爆被害の悲惨さを認識するとともに、平和への思いを強くしたと思います。



ニンニク収穫のお手伝いをしました

5月27日(金)に、大江まちづくり協議会が取り組まれているニンニク栽培の収穫作業を1年生が手伝わせていただきました。畑に入り、枯れた葉を目印に傷つけないように掘っていきました。そうすると次々と大きく育ったニンニクが出てきました。収穫の喜びの一端を体験させてもらいました。



6月5日(日)には、大江公民館で収穫期に合わせたガーリックフェスティバルが行われ、そのお手伝いをボランティア部の12人がさせていただきました。ニンニク販売のテントには行列ができるほどの盛況ぶりであり、お役に立てたようでした。これからも地域の活動に協力していきたいです。

